

# 令和5年度 年間指導計画

科目番号

① 国語2

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	学年・学科	I 学年・全学科
教科書	東京書籍「新編 言語文化」		副教材	・学習課題ノート・プレミアムカラー国語便覧・常用漢字ダブルクリア			

学習目標	<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付け、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。</p> <p>○社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、現代文、古文、漢文の文章を通して我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにします。</p> <p>○論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりできるようにします。</p>
学習方法	<p>○板書をノートに写したり、課題ノートを活用したり、考えをまとめたりしながら理解を深めます。</p> <p>○現代文、古文、漢文の文章を、正確に音読、朗読、暗唱し、それぞれの文章の特色や構成、内容に沿って読みを深めながら読解力を養います。</p> <p>○基礎基本となる言語事項については、問題演習、小テストを通し繰り返し学習します。</p> <p>○テーマに応じて自分の考えを発表をしたり、周囲との意見交流を行い学び合う活動を通して思考力、表現力を伸ばします。</p> <p>○小テスト、定期考査により、知識・技能および思考・判断・表現の力を確認します。</p>

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考査	考査以外
学習評価	a 知識・技能	・伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	前期中間	35 %	25	10
			前期末	35 %	25	10
			後期中間	35 %	25	10
			後期末	35 %	25	10
	b 思考・判断・表現	・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめている。 ・相手や目的、意図に応じた適切な表現を用いて文章を表現し、自分の考えをまとめ、深めている。	前期中間	40 %	20	20
			前期末	40 %	20	20
			後期中間	40 %	20	20
			後期末	40 %	20	20
	c 主体的に学習に取り組む態度(意欲)	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	前期中間	25 %	5	20
			前期末	25 %	5	20
			後期中間	25 %	5	20
			後期末	25 %	5	20

学期	単元名(題材)	学習内容(小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	【現代文編】 1 随筆 「さくらさくらさくら」	・筆者のものの見方、感じ方を捉え、日本人独自の桜に対する感性について理解を深めます。	○	○	○	a: 常用漢字を確認し、文や文章の中で活用することや、語句の意味を正しく理解し、語彙を豊かにしようとしている b: 作品や文章に表れているものの見方、感じ方を捉え、内容を的確に理解している。 c: 進んで日本独特の桜に対する感性について理解し、学習内容に沿って、本文から引用文の考察を踏まえながら、筆者の主張を整理している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
		・『美しい』ということについて考える。	○	○	○	a: 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b: 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 進んで現代の言語文化に息づいている古典の常識について理解し、「桜」についてふだんのように感じているか考え、発表しようとしている。	
	【古文編】 1 古文入門 「古文に親しむ」 「児のそら寝」 「用光と白波」 「絵師良秀」	・古文の代表的な文章を暗唱し、リズムや古文特有の表現を味わいます。	○	○	○	a: 古文の世界に親しむために必要な文語のきまりや古文特有な表現、古語の意味などを理解している。 b: 文章の種類をふまえて、それぞれの説話の内容や構成、展開などを文章に沿って的確に捉えている。	
		・本文を正確に音読し、登場人物の行動や心情を読み取ります。 ・古語の意味を確認しながら音読し、登場人物の言動を読み取ります。	○	○	○	c: 進んで歴史的仮名づかいや古語の意味を理解しながら、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしたり、説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	
前期末	【現代文編】 2 小説 1 「どんかつ」	・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取り、小説に親しみます。	○	○	○	a: 常用漢字を確認し、文や文章の中で活用することや、語句の意味を正しく理解し、語彙を豊かにしようとしている b: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c: 進んで本文に描かれた親子の出来事や会話、行動の描写をとらえ、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
		・随筆作品に表れた作者のものの見方や感じ方を的確に捉え、古文の随筆作品に親しみます。	○	○	○	a: 古文を理解するために必要な文語のきまりや古文特有な表現、古語の意味を理解することや『徒然草』『枕草子』と作者について、必要な知識を得ている。 b: それぞれの随筆に表れている筆者のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c: 進んで古語の意味や古典特有な表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えや感性を理解し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	

前期末	4 物語 『伊勢物語』	・歌物語の特徴を理解し、登場人物の人物像や行動、心情を読み取ります。	○	○	○	a:古文を理解するために必要な文語のきまりや古文特有の表現、古語の意味を理解することや『伊勢物語』について、必要な知識を得ている。 b:文章内容を叙述に即して的確に読み取り、和歌に込められた登場人物の心情を理解している。 c:進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習内容に沿って物語に描かれた内容を的確に捉えようとしている。	
-----	----------------	------------------------------------	---	---	---	---	--

後期中間	【現代文編】 3 小説 2 「羅生門」	・小説に描かれた情景、登場人物の行動や心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考えます。	○	○	○	a:常用漢字を確認し、文や文章の中で活用することや、語句の意味を正しく理解し、語彙を豊かにすることや、「羅生門」と作者について、必要な知識を得ている。 b:作品の内容や解釈を踏まえ、構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:進んで本文に描かれている内容についての見解をまとめ 学習課題に沿って、発表や討論を通して得た他の意見も踏まえながら、自分の考えを深めようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	【漢文編】 1 漢文入門 「漢文に親しむ」 ・訓読の基本	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解します。	○	○	○	a:漢文に親しむために、漢文の特色や訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解し、漢文の文章を正確に音読することができる。 b:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。	
	・故事成語	・故事成語の元になった話を読むことを通して、故事成語の由来や意味を確認します。	○	○	○	a:訓読のきまりに従い、漢文を正確に音読し、故事成語の由来や意味を理解している。 b:作品の内容や構成、展開などの叙述を基に的確に捉えている。 c:進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って故事成語の元となった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	
後期末	【現代文編】 小説 3 「夢十夜」	・表現に即して、小説を丁寧に読み、そこに展開する独自の世界を味わいます。	○	○	○	a:常用漢字を確認し、文や文章の中で活用することや、語句の意味を正しく理解し、語彙を豊かにすることや、「夢十夜」と作者について、必要な知識を得ている。 b:小説の内容や解釈を踏まえ、文章の構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:進んで小説の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、作者が描く「夢の中の世界」を読み味わおうとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	【漢文編】 2 漢詩 「漢詩を味わう」 「絶句と律詩」	・漢詩の形式ときまりを理解し、唐代の漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しみます。	○	○	○	a:漢詩に親しむために必要な漢詩のきまりや形式を理解し、作品や作者について必要な知識を得ている。 b:漢詩の内容や解釈を踏まえ、描かれている情景や心情を的確に捉えている。 c:進んで漢詩の形式やきまりを理解し学習課題に沿って、描かれた情景、心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。	
	3 論語 「論語のこぼ」 ・学ぶということ ・人間をみつめる ・政治を考える	・孔子の学問、人間、政治に関する考え方を読み取ります。	○	○	○	a:論語を正しく訓読し、『論語』や孔子について必要な知識を得ている。 b:『論語』の内容や解釈を踏まえ、孔子の考えを的確に捉えている。 c:進んで『論語』に表れているものの見方や考え方について理解し、学習課題に沿って、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。	